

テサロニケ人への後の書

第一章

一 パウロ、シルワノ、テモテ、書を我らの父なる神および主イエス・キリストに在るテサロニケ人
 の教會に贈る。ニ願くは父なる神および主イエス・キリストより賜ふ恩恵と平安と、汝らに在らん
 ことを。

三 兄弟よ、われら汝等につきて常に神に感謝せざるを得ず、これ當然の事なり。そは汝らの信仰おほいに加
 はり、各自みな互の愛を厚くしたればなり。四 然れば我らは汝らが忍べる凡ての迫害と患難との中にありて保ち
 たる忍耐と信仰とを神の諸教會の間に誇る。五 これ神の正しき審判の兆にして汝らが神の國に相應しき者となら
 ん爲なり。今その御國のために苦難を受く。六 汝らに患難を加ふる者に患難をもて報い、患難を受くる汝らに、
 我らと共に安息をもて報い給ふは、神の正しき事なり。七 即ち主イエス・キリストの御使たちと共に天よ
 り顯れ、八 神を知らぬ者と我らの主イエスの福音に服はぬ者と共に報をなし給ふとき、九 斯る者どもは主の顔と、
 一〇 その能力の榮光とを離れて、限りなき滅亡の刑罰を受くべし。一〇 その時は主おのが聖徒によりて崇められ、凡て
 の信する者（なんぢらも我らの證を信したる者なり）によりて讚められんとて來りたまふ日なり。二 これに就き
 て我ら常に汝らのために祈るは、我らの神の汝等をして召に適ふ者となし、能力をもて汝らの凡て善に就ける願
 と信仰の業とを成就せしめ給はんことなり。三 これ我らの神および主イエス・キリストの恵によりて、我らの

イ 撒前二・一	チ 撒前二・二二を見よ	二五 來六・一〇	レ 撒前四・一六を見よ	二・二二 賽四九・
ロ 哥後一・一九を見よ	リ 撒前二・一四を見よ	ヨ 哥前二・一三 來一	ソ 路一七・三〇を見よ	三
ハ 徒一六・一を見よ	又 撒前二・一四を見よ	〇 二七、一二・二	ツ 加四・八を見よ	ウ 撒前二・一（哥前一
ニ 撒前二・一（徒一七	ル 哥後七・四を見よ	九 彼後三・七 猶七	ネ 彼前四・一七	六）
ホ 羅一・七を見よ	（撒前二・二九）	一四・一〇（出三	（羅二・八）	井 哥前二・二三を見よ
ヘ 撒前四・一を見よ	ヲ 路二〇・三五（撒後	六六・一五 結一	ナ 賽二・二〇、一九、二	（賽二・二二）
ト 撒前一・二 羅一・八	カ（出二三・二二 西三	一三、一四 但七・九	ラ 撒前五・三 腓三・	ノ 西一・九
を見よ	タ 猶一四	太二五・四一）	一九	オ 羅一・二九を見よ
			ム 約一七・一〇（撒前	ク 羅一五・一四を見よ
			ヤ 撒前一・三を見よ	

主イエスの御名の汝らの中に崇められ、又なんぢらも彼に在りて崇められん爲なり。

第二章

- 一 兄弟よ、我らの主イエス・キリストの來り給ふこと、又われらが主の許に集ふことに就きては、汝らに求む。ニ或は靈により、或は言により、或は我等より出でし如き書により、主の日すでに來れりとて容易く心を動かし、かつ驚かざらん事を。三誰が如何にすとも、それに欺かるな。その日の前に背教の事あり、不法の人、すなはち滅亡の子あらはれざるを得ず、四彼はすべて神と稱ふる者、および人の拜む者に逆ひ、此等よりも己を高くし、遂に神の聖所に坐し己を神として見する者なり。五われ汝らと偕に在りし時、これらの事を告げしを汝ら憶えぬか。六彼をして己が時に至りて顯れしめんために、彼を阻めざる者を汝らは知る。
- 七不法の秘密は既に働けり、然れど此はただ阻めざる者の除かるるまでなり。八斯て其のとき不法の者あらはれん、而して主イエス御口の氣息をもて彼を殺し、降臨の輝耀をもて彼を亡し給はん。九彼はサタンの活動に従ひて來り、もろもろの虚偽なる力と徴と不思議と、一〇不義のもろもろの誑惑とを行ひて、亡ぶる者どもに向はん、彼らは眞理を愛する愛を受けずして、救はるることを爲さればなり。一一この故に神は、彼らが虚偽を信ぜんために惑をその中に働かせ給ふ。一二これ眞理を信ぜず不義を喜ぶ者の、みな審かれん爲なり。
- 一三されど主に愛せらるる兄弟よ、われら常に汝等のために神に感謝せざるを得ず。神は御靈によれる潔と眞理に對する信仰とをもて始めより汝らを救に選び、また我らの主イエス・キリストの榮光を得させんとて、

イ(非二・九、一〇) 賽ホ(哥前四・三二) 約又(弗五・六) カ(哥前八・五) ネ(賽二一・四) 黙二・ム太二四・二四を見よ。四

二四・二五、六六。 壹四・一。 ル(提前四・一)を見よ。ヨ(賽二四・一四) 結二。 ヨ(賽二四・一四) 結二。 ム太二四・二四を見よ。四

五 馬一・一一。 へ(撒後二・二五) (撒前) ヲ(提前二・二五) (但七・八・二二) ナ(提前六・一四) 提後。 井(撒後二・二二) (撒後) 二・二三。 ヤ(羅一・三三)を見よ。一〇

口(撒後一・三)を見よ。二(二・五) ヲ(撒後三・二七) 一・三六。 默一三。 ノ(羅一・二八) (王上二) (哥前二・三)を見よ。一〇

ハ(撒前二・一九)を見よ。ト(撒後三・二七) 一・三六。 默一三。 ノ(羅一・二八) (王上二) (哥前二・三)を見よ。一〇

ニ(可一三・二七) (撒前) チ(哥前二・八)を見よ。五(五・六) ソ(默一七・五、七) ラ(太四・一〇)を見よ。二(二・二二) マ(撒前二・四) ヲ(撒前二・三) 提後四。 ケ(撒後一・三)を見よ。一〇

四・二五(一七) リ(哥前七・二六) ワ(約一七・二二) ツ(撒後二・六) (雅三・一五)

テ撒前一・五を見よ ヨ(撒前三・一一) モ撒前四・一を見よ 哥前五・一一 撒後 ヨ徒一八・三を見よ
ア撒前二・一二を見よ ミ約三・一六を見よ セ撒前五・二五 ヲ(撒前三・一一) 三・二四 撒後三・五 弗四・二八
サ哥前一六・一三を見よ シ多三・七 彼前一・三 ス撒前一・八を見よ ト哥前五・四 ル撒前一・六 撒後三 タ哥前九・四一六
キ撒後二・二 王撒前三・二、一三撒 イ羅一五・三一を見よ チ(撒後二・一五) ●九 レ撒後三・七を見よ
ユ哥前一・二(撒後 一〇) ロ哥前一・九を見よ リ撒前五・一四 撒後 ヲ撒後三・六を見よ ソ彼前五・三を見よ
三・六) ヒ撒前四・一を見よ ニ撒前四・一〇、一二) ヌ羅一六・一七を見よ カ撒前二・九を見よ ツ撒前三・四
木撒前四・一一

一五 我らの福音をもて汝らを招き給へばなり。一五 されば兄弟よ、堅く立ちて我らの言あるひは書に由りて教へられたる傳を守れ。

一六 我らの主イエス・キリスト及び我らを愛し恩恵をもて永遠の慰安と善き望とを與へ給ふ我らの父なる神、願くは汝らの心を慰めて、凡ての善き業と言とに堅う爲給はんことを。

一七 願くは汝らの心を慰めて、凡ての善き業と言とに堅う爲給はんことを。
一 終に言はん、兄弟よ、我らの爲に祈れ、主の言の汝らの中における如く、疾く弘まりて崇められん事と、二 われらが無法なる悪人より救はれんことを祈れ。そは人みな信仰あるに非ざればなり。

第三章

二 然れど神は眞實なれば、汝らを堅うし、汝らを護りて悪しき者より救ひ給はん。四 斯て我らの命ずること
三 汝らが今も行ひ、後もまた行はんことを、主によりて信するなり。五 願くは主なんぢらの心を、神の愛とキリストの忍耐とに導き給はんことを。

六 兄弟よ、我らの主イエス・キリストの名によりて汝らに命ず。我等より受けし傳に従はずして妄に歩む凡ての兄弟に遠ざかれ。七 如何にして我らに效ふべきかは、汝らの自ら知る所なり。我らは汝らの中にありて妄なる事をせず、八 價なしに人のパンを食せず、反つて汝等のうち一人をも累はさざらんために、勞と苦難とをもて

九 夜晝はたらけり。九 これは權利なき故にあらず、汝等をして我らに效はしめん爲に、自ら模範となりたるなり。一〇 また汝らと偕に在りしとき、人もし働くことを欲せずば、食すべからずと命じたりき。二 聞く所によれば、汝

三 等のうちに妄に歩みて何の業をもなさず、徒事にたづさはる者ありと。三 我ら斯のごとき人に、靜に業をなして
 己のパンを食せんことを、我らの主イエス・キリストに由りて命じ、かつ勸む。三 兄弟よ、なんぢら善を行ひて
 倦むな。二 もし此の書にいへる我らの言に従はぬ者あらば、その人を認めて交ることを爲な、彼みづから恥ぢん
 ためなり。一 然れど彼を仇の如くせず、兄弟として訓戒せよ。
 願くは平和の主、みづから何時にても凡ての事に平和を汝らに與へ給はんことを。願くは主なんぢら凡て
 の者と偕に在さん事を。

一七 我パウロ手づから筆を執りて汝らの安否を問ふ。これ我がすべての書の記章なり。わが書けるものは斯の
 如し。一 願くは我らの主イエス・キリストの恩恵なんぢら凡ての者と偕ならんことを。

テサロニケ人への後の書 をはり

イ 撒後三・六を見よ
 ホ 撒前四・一を見よ
 又(哥前四・二四)
 口 提前五・一三 彼前
 ヘ 加六・九を見よ
 ル(加六・二)
 四・二五
 ト(西四・二六)
 テ 撒後三・六(撒後三
 一)
 チ(多二・八)
 ヲ 撒前四・二
 リ 撒後三・六を見よ
 ワ 撒前五・一四
 カ 羅一五・三三を見よ
 ソ 羅一六・二〇を見よ
 ヨ 撒前三・一一を見よ
 (撒前五・二八)
 タ 得二・四
 レ 哥前一六・二二を見
 よ